

郡上市民も一丸となって オリンピック後押し



コロンビア女子ラグビー

2020年東京オリンピックを目指す7人制女子ラグビーチームについて、郡上市で合同合宿を行うマダガスカル共和国（先月号紹介）に続き、今月号ではコロンビア共和国の紹介をします。

コロンビア共和国については、昨年郡上市で、7人制女子ラグビーユースオリンピック代表選手たちの合宿が行われた際の感想や郡上市の印象、コロンビア共和国とラグビーの関係についてお伝えします。

令和元年度の郡上市の合宿が決まって

コロンビアラグビー連盟コミユニケーションコーディネーターのハルビ氏は、「コロンビアのラグビーにとって、今年も郡上市で代表合宿ができることは、大変すばらしいことです。なぜなら、前回のユースオリンピック代表チーム（以後ユースチーム）が合宿した時、トレーニング環境だけでなく、選手たちの自覚と人間形成に非常に効果がありました。私は、ユースチームの選手たちが、帰国した際に全員にインタビュウを行いました。選手たちは、長旅を終え疲れていたにもかかわらず、笑顔で郡上での写真を次々に見せて、答えてくれました。」と、郡上市での合宿は、非常に有意義なものであり、選手としてだけでなく、人として大きく成長ができたきっかけになったこと

郡上市に感銘を受けた選手たち

を述べられました。

合宿前、選手たちは日本についての知識がほぼなく、東京や大阪といった大都会のイメージを持っていたそうです。そのため中部国際空港セントレアからバスで向かう際、名古屋のビル群が見え始めた時に、選手たちは降りる準備を始めたそうです。しかし、バスは止まる気配



もなく、外の風景が徐々に町を抜け、山を抜け、大自然の中にあるホテルに到着した時、選手たちはびっくりしたそうです。しかし、合宿中の学校訪問や多くの人たちと交流していく中で、あちこちに日本の文化と歴史が漂い、朗らかな人たちが住んでいる郡上市が、日本のカントリースタイルだと気づき、郡上市が大好きになったそうです。そして、多くの人たちに歓迎され、訪問する学校では、どこも笑顔にあふれ、温かい交流がありました。さらに、練習会場、ホテル、食事、ウエルカムパーティー、グローバル大会の全てに心からのおもてなしを受け、郡上市の対応に選手たちは感謝の気持ちでいっぱいだと話してくれました。

また、郡上市での対応が、選

手全員に自分たちがコロンビアラグビーの代表選手だと自覚を強めてくれたそうです。

その結果、選手たちは、帰国してすぐに行われたユースオリンピック大会で、見事4位の成績をおさめられました。このユースチームの選手たちの活躍と意識革命は、コロンビアラグビー連盟にとって大きな未来を作ることになりました。

コロンビアラグビー連盟について

コロンビアラグビー連盟は、2010年に設立され、コロンビア国内のラグビー強化を行うために、大きな目標と計画された指導、普及活動をはじめまし



た。女子ラグビー7人制チームは、設立して4年後、2014年中南米大会優勝、2016年リオオリンピック競技大会出場、2018年中南米大会優勝、ユースオリンピック4位と確実に実力をつけています。

シンデレラとなったユースチーム

ユースチームが4位になって以降、コロンビアのメディアにおいて、女子ラグビーのニュースが取り上げられるようになり、多くの国民もラグビーをテレビで見ることが増えました。

以前は、ニュースが流れたとしても一瞬で、何のスポーツなのか興味すら持たれず、選手



家族ですらラグビーに興味がなかったほどです。しかし今では、家族はもちろん、友人も知人も多くの国民が、ラグビーに興味を持ち始め、男女問わずラグビーを始めたと思う人たちが増えてきました。

特に女子は、ユースチーム選手たちへの憧れや、開かれた女子スポーツに夢をもちラグビーを始める女子が多く、その結果、女子ラグビー競技者人口は、前年度よりも32%も増え、プレーヤー登録18,000人を達成しました。

この成長率にワールドラグビー女子ラグビーゼネラルマネジャーであるケイティ・サドレア氏は「ラグビー競技だけに留まらず、スポーツ全体に対して素晴らしいリーダーシップを発揮している」とコロンビアラグビー連盟の取り組みに絶賛し、コロンビアを訪問するほどです。



教育プログラムとしても

コロンビアの学校関係者は、ラグビーという競技に教育指導プログラムに必要な要素(価値、持続、規律、連帯力)が含まれていると評価をし、昨年だけでラグビーを教育プログラムとして取り入れた学校が約200校以上ありました。

コロンビア女子ラグビー代表チーム

コロンビアラグビー連盟は、2020年東京オリンピック競技大会を目指し、5月末から始まる中南米地区予選で1位通過を目指しています。今回の代表チームは、全国から有能な選手が80名近く集い、その中から12名の選手が選出されます。過去最高の代表メンバーで予選会に挑みます。

郡上市で合宿することについて

ラグビー選手として、ラグビーワールドカップ2019が開催される年に日本で合宿できることに大きな喜びを感じます。また、私たちは2020年東京オリンピック競技大会出場に向け、郡上市のみなさんと強い絆を深めて、一緒にオリンピックを目指したいと思っています。郡上市のみなさんとお会いできることを心より楽しみにしています。

選手一同

